

燃ゆる感動 かがしま大会

特別全国障害者スポーツ大会

熱い鼓動 風は南から

2023



特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かがしま大会」

選手団連絡事項 (アーチェリー)



大会期日：令和5年10月29日（日）

公式練習日：令和5年10月28日（土）

競技会場：鹿児島ふれあいスポーツランド

団体名	氏名

目 次

1 アーチェリー競技に関する連絡事項 P 1

2 会場図 P 7

3 競技実施要領 P 10

4 競技日程 P 12

別紙 1 選手棄権届

別紙 2 用具検査項目一覧

別紙 3 委任状

特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」 アーチェリー競技に関する連絡事項

1 競技会場への入場について

(1) 競技会場について

- ・ 競技は、鹿児島ふれあいスポーツランド芝生広場において行います。

(2) 選手受付について

- ・ 10月28日(土) 12時30分～14時00分(開場時間：12時30分)

※ 公式練習日

- ・ 10月29日(日) 8時30分～9時30分(開場時間：9時30分)

※ 開場時間前に会場には入れませんのでご注意ください。

- ・ 選手受付場所 競技会場正面入口 受付テント

- ・ 10月28日(土)、29日(日)両日とも、選手団の代表者が受付を行い、受付終了後に選手控所に移動をしてください。

2 棄権届について

大会前に判明している棄権者については、別紙1「選手棄権届」に必要事項を記入の上、9月29日(金)までに担当(P6)へ提出をお願いします。

9月30日(土)以降の棄権につきましては、次のとおり提出してください。

- ・ 10月28日(土) 監督会議・公式練習日 → 監督会議場の受付時
- ・ 10月29日(日) 競技日 → 競技会場の競技本部

3 IDカードについて

選手控所などの関係者エリアに入ることができるのは、IDカードまたはゼッケン、ビブスを身に着けた方のみとなりますので、常にIDカード等を携帯してください。

4 介助者について

- ・ 参加申込時に介助を希望し、「個人競技出場種目決定書」の特記事項欄に「介」及び「外」と記載されている場合は、申請不要です。
- ・ 許可を受けた介助者は、公式練習日及び競技日ともに、選手受付で介助許可証(ビブス)の交付を受けてください。(各日の日程終了後、選手受付に返却してください。)

5 ゼッケンについて

事前に送付するゼッケンは、競技者のクィーバーまたは大腿部に表示し、競技中は常にシューティングライン後方から所定の位置に見えるようにしてください。指定の場所への表示が難しい場合は、競技本部に申し出てください。

6 監督会議について

- (1) 10月28日(土)14時から、鹿児島ふれあいスポーツランド屋内運動場で行います。
- (2) 各選手団の出席者は、競技会場で選手受付を済ませた後、開始時刻までに監督会議場へお集まりください(監督会議場は、競技会場から徒歩で5分程度です)。なお、監督会議場においても、監督会議出席者の受付を行います。参加できる人数は、各選手団の監督または代表者1名のみとします。

競技運営上の質問は8月25日に締め切りました。当日の質問は受け付けませんのでご了承ください。

7 公式練習について

- (1) 公式練習は、10月28日(土)に競技会場と同会場で行います。
- (2) 公式練習の時間等については、「競技日程」(P12)を参照してください。
- (3) 競技会と同様に50m、30mの的を設置しますので、立順に沿って各自の標的を使用してください。50m・30mラウンドの種目については、前半は50mの位置に的を設置し、15時30分頃に30mの位置に的を移動させます。

当日は、信号機(時計装置とブザー)により進行します。競技役員の指示に従って練習を行ってください。

- (4) 行射時間と本数は、2分3射です(状況により変更する場合があります)。

8 用具検査について

- (1) 公式練習と並行して、審判員が各選手控所テントに出向き、用具検査を行います。用具の準備ができた方は、各選手控所テント前に整列してください。用具検査には、弓具以外に服装、ゼッケン、車いす、補助具等を含みます。
- (2) 用具検査項目は一覧(別紙2)のとおりですので、事前に確認をお願いします。また、用具検査は、審判員の指示に従い検査を受けてください。
- (3) 公式練習に参加できない場合または10月28日(土)の検査で指摘を受けた場合は、10月29日(日)8時30分から9時20分までの間に用具検査を行いますので、選手控所テント内でお待ちください。

9 式典について

- (1) 開始式

10月29日(日)9時30分から、競技会場にて実施します。各選手は、開始時刻5分前までに選手控所に集合してください。

- (2) 表彰式・閉会式

競技終了後に、競技会場にて実施します(15時20分予定)。選手は、開始時刻5分前までに選手控所に集合してください。

10 競技に係ることについて

(1) 得点記録及び矢の回収について

- ・ 各選手に1名の競技補助員（以下「エージェント」という。）を配置します。
- ・ エージェントは、出場選手の委任を受け、得点となった矢の確認、得点記録及び矢の回収を行います。

(2) 委任状の提出について

エージェントについて、別紙3「委任状」に必要事項を記入の上、10月6日（金）までに、担当（P6）まで郵送で提出をお願いします。10月7日（土）以降の提出については、10月28日（土）の監督会議受付にて提出してください。

(3) 練習は、競技開始前に行い、「3射2分矢取り」を2回繰り返します。

(4) 競技は、1エンドごとに3射2分の得点記録及び矢取りを行います。

(5) 使用的については、以下の表のとおりとします。

<全国障害者スポーツ大会アーチェリー競技使用標的面一覧表>

部門	種目	標 的 面	
		障害区分1	障害区分2-8
リカーブ	50・30mラウンド	80cm	80cm
	30mダブルラウンド	80cm	80cm
コンパウンド	50・30mラウンド	80cm	6リング
	30mダブルラウンド	6リング	6リング

注) コンパウンド部門、50・30mラウンド、障害区分1においては、いずれの距離においても10個の得点帯のある全寸法80cm標的面を使用する。

11 安全確保に向けた取扱い

安全確保の観点から全日本アーチェリー連盟競技規則の「安全規程」を遵守してください。次の3点について、特に注意してください。

(1) 行射の管理と安全

競技進行は、信号機（時計装置とブザー）により進行します。審判員の指示に従ってください。

(2) 水平の引き分け、引き戻しの励行

引き分けるとき、または引き戻す際には、矢が地面（床面）に対して水平、あるいは矢先が的に付いた状態で行ってください。場外への飛び出し等の恐れがある場合は、審判員が口頭で注意し、繰り返す場合は、イエローカードでの指導、さらに繰り返す場合は、競技委員長の判断により、当該選手の行射中止を命じる場合があります。

(3) 不具合弓具の継続使用は禁止

競技中に使用している弓具に事故を誘発する可能性のあるなんらかの不具合が発生した場合には、そのままの使用はもちろん、修理した場合であっても使用を禁止します。直ちに予備の弓具と交換してください。万一、予備の弓具がない場合には、行射を中止していただきます。

12 各諸室・提供サービスについて

(1) 選手控所（テント）について

選手控所（テント）は別添のとおりです。IDカードを身に付けた付添者等の選手関係者の方もご利用ください。なお、貴重品の管理は、選手の責任でお願いします。

(2) 更衣室について

選手更衣室は、既存施設（スロープなし）及び仮設テントの更衣室をご利用ください。利用の際は、譲り合って利用してください。

(3) 救護所について

- ・ 実施本部横に救護所を設け、医師・看護師を配置します。体調不良やけがをした際にはご利用ください。なお、救護所での処置はあくまで応急処置となります。
- ・ AEDは救護所内にあります。

(4) コンディショニングルームについて

- ・ 救護所横にコンディショニングルームを設置します。
- ・ 選手の体をほぐし、競技前後の筋肉の疲労回復を図るため、鍼灸マッサージ師会の有資格者を配置し、公式練習日、競技日に施術を無料で行います。
- ・ 利用対象者は選手を優先します。
- ・ コンディショニングルーム入口の予約簿に必要事項を記入後、予約した時間に来場し、受付を行ってください。
※ 予約方法は、運営団体によって変更される場合もありますので、ご注意ください。
- ・ コンディショニングルームを利用する場合は、必ず選手団の監督や引率者に連絡し、選手団での事前把握を必ず行った上での利用をお願いします。
- ・ 選手控所でアイシングするための氷は各選手団で調達してください。

○ 体調不良、ケガは救護所へ！

○ 体の緊張をほぐす、筋肉の疲労回復等はコンディショニングルームへ！

★ 用途に応じた適切な利用をお願いします。

(4) 車いす・補装具修理所について

車いす・補装具修理所をフライングディスク会場内に設置します。修理等必要な場合は、ご利用ください。空気圧の調整やねじの締め付け等、調整程度のものについては無料ですが、その他修理に要した部品については利用者の負担となります。

(5) ドリンクサービス（飲料水の提供）

公式練習日及び各競技日に、飲料水（常温ペットボトル1人1本）を提供します。

※ 10月28日（土）の受付時にお渡しします。

(6) おもてなし（ぐりぶー）広場

フライングディスク会場内におもてなし（ぐりぶー）広場を設置し、ふるまい料理の提供やグッズの販売等を行っています。是非お立ち寄りください。

13 競技記録について

競技会場入口付近に記録速報コーナーを設けています。また、インターネットサイトにて、試合結果の速報を掲載します。(インターネットサイト用のQRコードを記録速報コーナーに掲示します)

14 情報支援について

情報保障席等会場内に常駐している情報支援ボランティア(手話・筆談)等を通じて、随時、情報を提供いたします。

競技会場内に配置していますので、必要な場合は、お声かけください。

15 昼食弁当の引換等について(斡旋弁当を注文した方のみ対象)

(1) 弁当引換所(弁当ガラ回収所)

フライングディスク会場内に設置

(2) スケジュール

- ・ 弁当引換時間 10時30分～13時00分(厳守)
- ・ 弁当ガラ回収時間 ～14時00分

(3) 弁当引換

弁当申込後、印刷した「弁当引換券」を持参し、弁当引換所にて引換時間内に受領してください。なお、食事は原則選手控所でするようにしてください。

(4) 弁当ガラ(空容器、食べ残し)回収

- ・ 弁当ガラはすべて弁当引換所で回収します。
- ・ 弁当ガラについて以下の点に留意ください。

【留意事項】

- ① 弁当引換所以外のゴミ箱等に廃棄しないでください。
- ② 食べ残しを容器と分別する必要はありません。容器に残したまま持参ください。

(5) 食中毒防止

- ・ 引換後は、消費期限(14時)に関わらず、速やかにお召し上がりください。
- ・ 弁当の持ち帰りはありません。

16 熱中症対策(水分補給)について

(1) 選手の熱中症対策(水分補給)については十分ご注意ください。

特に、試合中の水分補給用のドリンクについては、各選手団で来場前にご用意ください。なお、飲食については、選手控所をお願いします。

(2) 主催者で用意する氷は、救護所やコンディショニングルームで使用しますので、選手団へお渡しすることはできません。

17 その他

(1) 貴重品について

貴重品は、各自責任をもって管理してください。会場内での盗難・紛失には一切の責任を負いません。

(2) 忘れ物・落し物について

忘れ物・落し物等は、実施本部で受付・保管します。

(3) 撮影について

競技の妨げとなるため、競技中はフラッシュ撮影禁止です。

(4) 喫煙について

喫煙は指定された場所で行います。

(5) 競技用具の管理について

競技に必要な用具（競技の際に使用する椅子も含む）は、各自で管理していただきます。主催者側での用具預かりや準備は行いません。

(6) 荷物の受け渡し等について

計画バスや輸送トラックからの道具や車いすの積み下ろしの際に、競技会場や宿舎で円滑に受け渡しができるように、各自で道具等に名札などの目印をつけて管理してください。

(7) その他

大会当日は競技会場にテレビ、新聞等の報道機関が来場し、選手の氏名、写真、映像等が報道されることがあります。また、燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会実行委員会事務局のホームページにて競技会の写真を掲載することがありますので、あらかじめご了承ください。

<問合せ先>

燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会実行委員会事務局

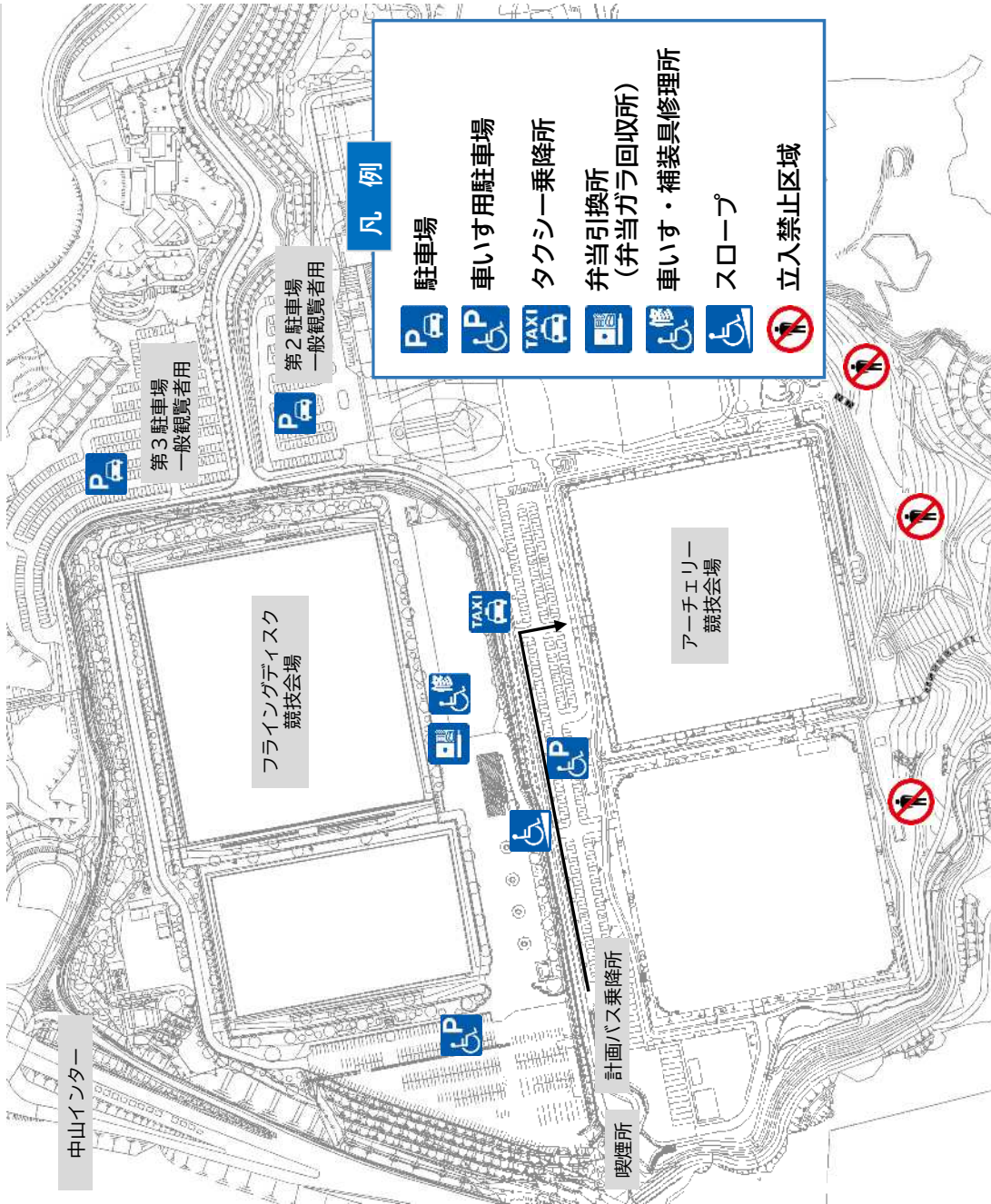
(鹿児島県国体・全国障害者スポーツ大会局全国障害者スポーツ大会課)

アーチェリー担当：折田

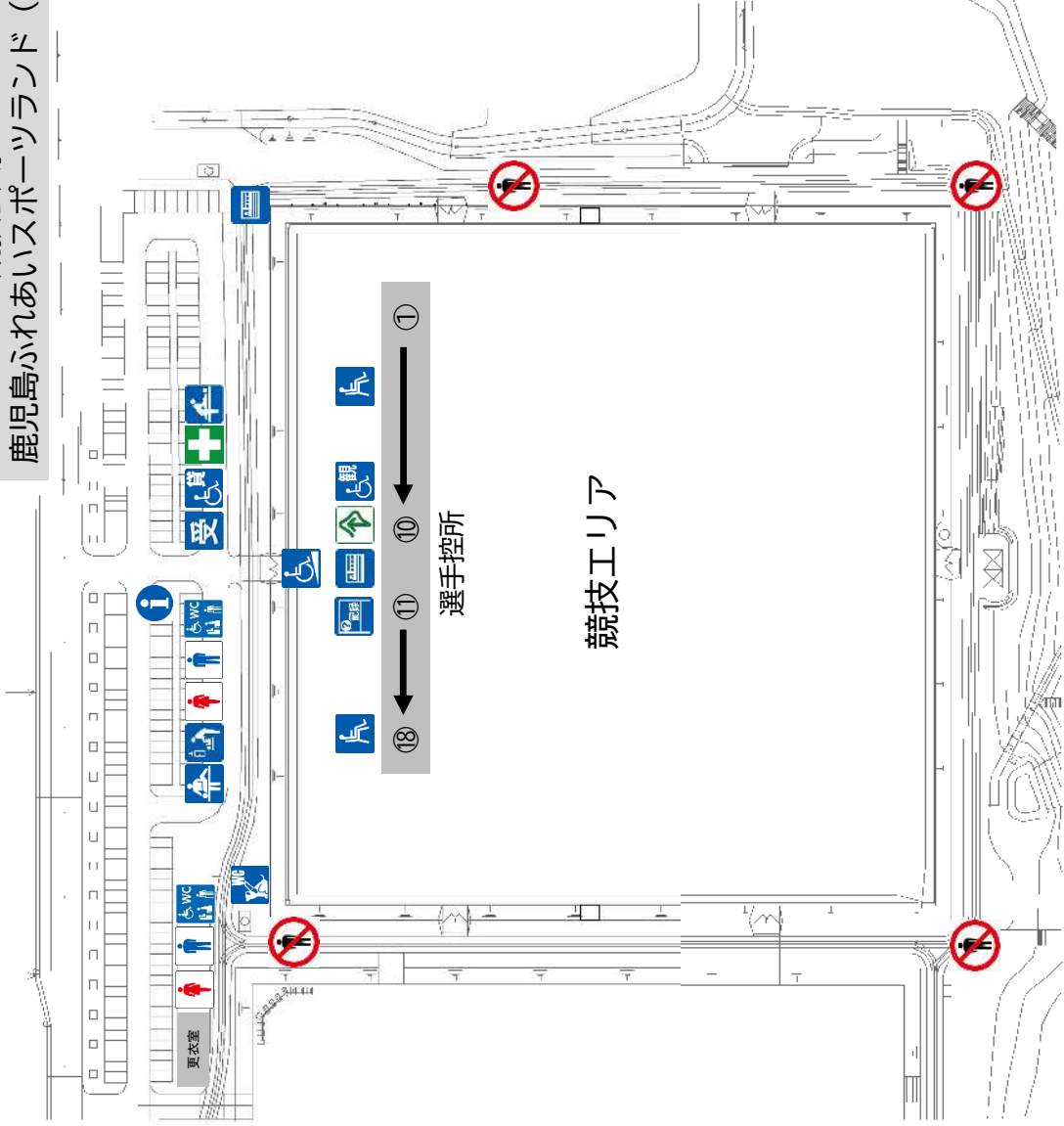
TEL:099-286-2561 FAX:099-286-5553

E-mail: syousupo-kyougi@pref.kagoshima.lg.jp


















アーチェリー競技会場
鹿兒島ふれあいスポーツランド



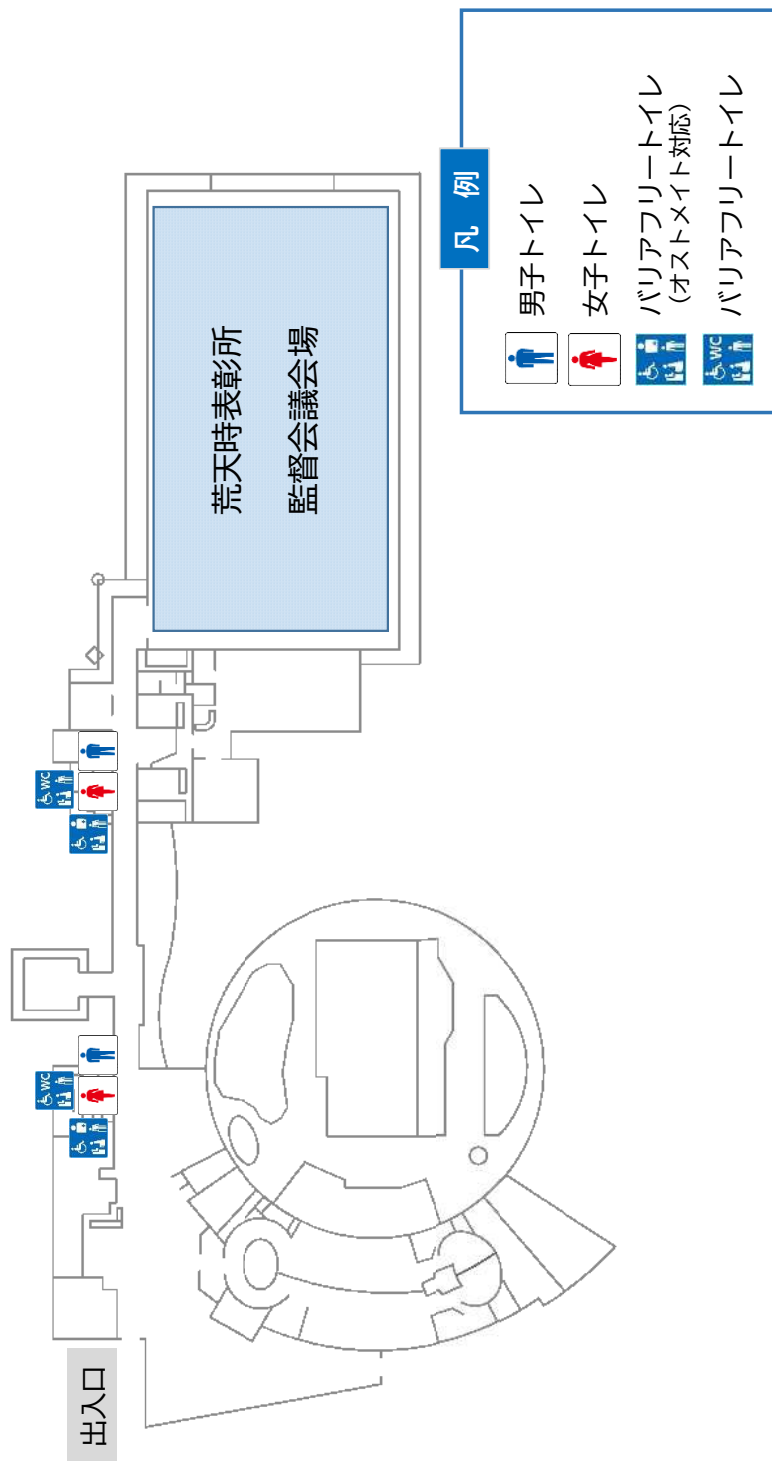
アーチエリー競技会場
鹿児島ふれあいスポーツランド（芝生広場）



凡例

-  案内所
-  選手団・関係者受付
-  男子トイレ
-  女子トイレ
-  バリアフリートイレ
-  大人用おむつ交換所
-  補助犬トイレ
-  一般観覧席
-  車いす用観覧席
-  車いす貸出所
-  スロープ
-  情報保障席
-  救護所
-  コンディショニングルーム
-  授乳室
-  記録速報コーナー
-  IDチェック

アーチエリー競技会場
鹿児島ふれあいスポーツランド（屋内運動場）



**特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」
アーチェリー競技実施要領**

1 競技規則

令和5（2023）年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本パラスポーツ協会制定）によるもののほか、この要領の定めるところによる。

2 競技方法

- (1) 1 標的2名（A・B）の1立制とし、3射ごとに採点・矢取りを行う。
- (2) 行射時間は3射2分とする。
- (3) 練習は、競技開始前に行い、「3射2分矢取り」を2回繰り返す。
- (4) 競技進行は、音響・視覚による時間管理装置（信号機）により行う。
- (5) 得点記録及び矢の回収の権利は、チームの監督、競技者の代行者（エージェント）もしくは競技運営主管団体に委託する。

3 的番・立番

的番及び立番は、主催者が決定する。

4 用具

競技に必要な用具は、競技者が各自用意し、用具検査を受けたものを使用する。大会期間中の用具管理は、各自の責任において行う。

5 服装等

- (1) 競技時の服装は、競技規則に準じたものとする。
- (2) 番号布（ゼッケン）は、主催者が交付したものを、競技者のクイバー又は大腿部に表示し、競技中は常にシューティングライン後方から見えなければならない。
なお、指定の場所への表示が難しい場合は、状況に応じて別途指示をする。

6 用具検査

用具検査は、令和5（2023）年10月28日（土）及び29日（日）に競技会場で行う。用具検査には、弓具以外に、服装、番号布、車いす、補助具等を含む。

7 開始式・表彰式

- (1) 開始式は、競技開始前に競技会場で行う。
- (2) 表彰式は、競技終了後に競技会場で行う。

8 アシスタント

- (1) 障害区分1又は特別な事情のある競技者は、アシスタントを1名つけることができる。競技者の介助を行う者は、あらかじめ主催者の許可を得て競技者と同じゼッケン

の交付を受け、表彰式終了時まで着用する。

- (2) アシスタントは、シューティングライン（S L）まで入場することができる。
- (3) 競技者に対する助言は認めない。ただし、用具に重大な異常が生じていることを告げる場合を除く。
- (4) アシスタントの違反行為は、すべて競技者の違反行為とみなす。
- (5) アシスタントは、射場内に競技上必要な物以外は持ち込んで서는ならない。
- (6) アシスタントは、競技役員の指示に従わなければならない。

9 その他

- (1) 監督会議は令和5（2023）年10月28日（土）に行う。なお、監督会議の時間及び場所については別途通知する。
- (2) 競技場内へは、競技者、監督、コーチ、大会役員、競技役員、競技補助員、実施本部員、情報支援ボランティア及びあらかじめ許可されたアシスタント、報道関係者、視察員等関係者以外は立ち入ることができない。
- (3) 荒天時ほか不測の事態が生じた場合の取り扱いは、主催者において別途決定する。

競 技 日 程

◆令和5年10月28日（土）

公式練習・監督会議

開始時刻	終了時刻	所要時間	項 目	備 考
12:30	14:00	90分	選手団受付	
14:00	14:30	30分	監督会議	
14:45	16:30	105分	用具検査/公式練習	途中15分休憩
16:30	—		選手団解散	

◆令和5年10月29日（日）

競技日

開始時刻	終了時刻	所要時間	項 目	備 考
8:30	9:20	50分	選手団受付・用具検査	用具検査 前日再検査のみ対象
9:30	10:00	30分	開始式	開会式後，移動，準備
10:15	10:25	10分	練習	
10:30	12:00	90分	競技：第1ラウンド（36射）	18射終了後，10分程度 の休憩
12:00	13:00	60分	昼食休憩・的移動	
13:00	14:30	90分	競技：第2ラウンド（36射）	18射終了後，10分程度 の休憩
14:30	15:00	30分	記録確認等/異議受付	
15:00	15:20	20分	記録（確認用）配付	
15:20	16:20	60分	表彰式・閉会式	
16:20	17:00	40分	確定記録配布，メダルケース配布 選手団解散	

選手棄権届

令和5年 月 日

特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」
アーチェリー競技 競技委員長 様

次の選手は下記のとおり競技を棄権しますので届け出ます。

選手団名	
届出者氏名	
的番・立番	
選手氏名	
棄権理由	
備考	

処理欄	競技委員長	審判長

用具検査項目一覧（リカーブ）

大項目	小項目	検査内容
服装	着衣	・競技規則に準じたもの。
	競技番号	・競技者番号（ゼッケン）は、選手のクイバーまたは大腿に明瞭に表示し、競技中は常にシューティングライン後方から所定の位置に見えるようにすること。
弓	弓	・照準の助けとなる目印等がないこと。
弓の装具	レスト	・電氣的または電子式装置でないこと。 ・照準の助けとなるものでないこと。
	クリッカー	・電氣的または電子式装置でないこと。（1個に限る）。
	照準器	・プリズム、レンズまたはその他の光学的拡大装置、水準器、あるいは電氣的または電子式装置が組み込まれていないもので、2個以上の照準点を有していないこと。
弦	弦	・弦のサービングの端は、フルドロウの時、競技者の視野に入らないこと。 ・ピープホール、目印等照準の助けとなるものがついていないこと。
矢	矢	・同じ色のシャフト、同じ形状および色の組み合わせの羽根、同じ色のノック、クレストを付けてある時は、同じ色の組み合わせであること。 ・シャフトには、競技者の名前またはイニシャルが記されていること。 ・シャフトの最大直径は、9.3mmを超えていないこと。 ・競技に必要な本数があること。
車いす等	ブレーキ	・車いすは、車いすに取り付けられたブレーキ以外の装置で固定してはならない。
	背もたれ・支柱	・背もたれや支柱が体幹の半分より前方に位置してはならない。 ・肢体不自由部門1の競技者は、腋の下から11cm以下、車いすの背もたれの支柱から10cm以内、背もたれの中心から半径23cm以上の支持物によるボディーサポートを使用してよい。支持物によるボディーサポートの代わりに、幅5cm以内で身体と1cmのゆとりのあるベルトで支持してもよい。 ・肢体不自由部門2の競技者は、腋の下から11cm以下に車いすの背もたれの支柱が位置しなくてはならない。また支持物によるボディーサポートやベルトは使用できない。
	その他	・行射中は押手ならびに弓を車いすや椅子で支えてはならない。 ・椅子使用の競技者は、腋の下から22cmの範囲にある胴体に椅子が接触してはならない。 ・椅子の脚と競技者の足によって囲まれる地面との接触範囲は60×80cmの広さを超えてはならない。
その他	タブ等	・グローブ、フィンガータブには弦を引き、保持し、リリースの助けとなる装置のないこと。 ただし、肢体不自由部門1（第8頸髄まで残存）の選手は、リリースエイド等の使用が認められる。

用具検査項目一覧（コンパウンド）

大項目	小項目	検査内容
服装	着衣	<ul style="list-style-type: none"> ・競技規則に準じたもの。
	競技番号	<ul style="list-style-type: none"> ・競技者番号（ゼッケン）は、選手のクイバーまたは大腿に明瞭に表示し、競技中は常にシューティングライン後方から所定の位置に見えるようにすること。
弓	弓	<ul style="list-style-type: none"> ・ピークドロウエイトは60ポンド以下とする。
弓の装具	レスト	<ul style="list-style-type: none"> ・電氣的または電子式装置でないこと。 ・プレッシャーポイントは弓のハンドルのスロート部（ピポットポイント）から6cm後方（内側）以内の位置とする。
	クリッカー	<ul style="list-style-type: none"> ・電氣的または電子式装置でないこと。（複数）。
	照準器	<ul style="list-style-type: none"> ・プリズム、レンズまたはその他の光学的拡大装置を単独または組み合わせて使用でき、水準器を組み込むことができる。電氣的または電子式装置が組み込まれていないもの。
弦	弦	<ul style="list-style-type: none"> ・ノッキングポイント（複数）付けることができる。 ・ピープホール・リップマーク・ノーズマーク等それぞれ1個の付着物を弦に付けることができる。
矢	矢	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ色のシャフト、同じ形状および色の組み合わせの羽根、同じ色のノック、クレストを付けてある時は、同じ色の組み合わせであること。 ・シャフトには、競技者の名前またはイニシャルが記されていること。 ・シャフトの最大直径は、9.3mmを超えていないこと。 ・競技に必要な本数があること。
車いす等	ブレーキ	<ul style="list-style-type: none"> ・車いすは、車いすに取り付けられたブレーキ以外の装置で固定してはならない。
	背もたれ・支柱	<ul style="list-style-type: none"> ・背もたれや支柱が体幹の半分より前方に位置してはならない。 ・肢体不自由部門1の競技者は、腋の下から11cm以下、車いすの背もたれの支柱から10cm以内、背もたれの中心から半径23cm以上の支持物によるボディーサポートを使用してよい。支持物によるボディーサポートの代わりに、幅5cm以内で身体と1cmのゆとりのあるベルトで支持してもよい。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・肢体不自由部門2の競技者は、腋の下から11cm以下に車いすの背もたれの支柱が位置しなくてはならない。また、支持物によるボディーサポートやベルトは使用できない。 ・行射中は押手ならびに弓を車いすや椅子で支えてはならない。 ・椅子使用の競技者は、腋の下から22cmの範囲にある胴体に椅子が接触してはならない。 ・椅子の脚と競技者の足によって囲まれる地面との接触範囲は60×80cmの広さを超えてはならない。
その他	リリーサー	<ul style="list-style-type: none"> ・リリーサーに故障・不具合が発生した場合は、直ちに予備に交換すること。 ・故障・不具合があるリリーサーを競技中に修理・調整して使用してはならない。

特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」

アーチェリー競技

委 任 状

特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」

アーチェリー競技実施要領に基づき、得点記録及び矢の回収を

鹿児島県アーチェリー協会に一任します。

令和5年 月 日

選手団名

氏 名 (自署)

(提出先) ※提出期限：令和5年10月6日(金)
〒890-8577 鹿児島県鹿児島市鴨池新町10-1
燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会実行委員会事務局
(鹿児島県国体・全国障害者スポーツ大会局全国障害者スポーツ大会課)
アーチェリー担当：折田
TEL:099-286-2561 FAX:099-286-5553
E-mail: syousupo-kyougi@pref.kagoshima.lg.jp